

生活支援に感謝 児童・生徒が自衛隊員へ感謝状と花束を贈呈

災害派遣をいただいた自衛隊員へ感謝の気持ちを込め、9月15日に屈足南小学校児童、16日に新得小学校児童、20日に屈足中学校生徒、新得中学校生徒によって感謝状と花束の贈呈が行われました。

感謝状を受け、屈足総合会館前で入浴支援を行っていた第5後方支援隊の堺栄卓2等陸尉は「感謝状をもらい率直に嬉しい。被災者の立場に立ち、少しでも気持ちよくなってもらえるよう心がけた」と話していました。

自衛隊の支援風呂は9月15日までに延べ3200人が利用。給水は約500トンが供給されました。



感謝状を手渡した廣澤桃羽屈足南小学校児童会長（中央）

これからもお元気で 今年度で100歳を迎える4人 にお祝い状と記念品を贈呈

今年度で100歳を迎える方を浜田正利町長が9月28日に訪問し、内閣総理大臣からの祝い状と記念品を贈呈しました。

新得ふれあい館で藤田愛子さん、新得やすらぎ荘で小野ミヤさん、小規模多機能センターららで小坂民子さんにそれぞれ贈呈が行われました。川久保子ヨさんは入院中のため別途対応。

賞状を受け取った3人は笑顔で感謝を述べ、施設利用者らから暖かい拍手を浴びていました。

新得やすらぎ荘では、お祝いのくす玉が内緒で用意され、小野さんは、驚きながらも照れくさそうに笑顔を浮かべていました。



お祝い状を受け取った小野さん

笑顔で遊戯 パチンコパーラー135が 老人ホーム入所者を招待

パチンコパーラー135が9月20日、敬老の日のお祝いとして、養護老人ホームひまわり荘、特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘などの入所者約30人を招待しました。

お年寄りにパチンコやスロットを楽しんでもらおうと5年前から同店の2時間の無料開放に含ませて招待しています。

入所者は、自分の好きなパチンコ台・スロット台に座り、楽しそうに遊戯をしており、大当たりとなることと笑顔を見せ嬉しそうに隣の人に話しかけたりしていました。

2時間の短い間でしたが、入所者は十分に楽しい時間を過ごしたようでした。



火災から街を守る強い味方 新得消防団が水槽付消防ポンプ車を更新

新得消防団（廣瀬顯嗣団長）が9月14日、消防車両を更新しました。旧消防ポンプ自動車は、平成3年10月に導入後、25年が経過し老朽化や修理部品の調達が困難などの理由から、今回、車輛更新となりました。これまでの車輛は水槽がついていないタイプでしたが、新たに導入された車輛は、3000ℓの水槽付きで、水の調達が困難な場所でも迅速な対応が可能となります。



導入された水槽付消防ポンプ自動車

**しんとく
歴史歩**

No.13

旧新内小学校

郷土の歴史を新得町郷土研究会がご紹介します。一緒に歴史の散歩に出掛けましょう。

新内小学校は昭和8（1933）年11月、南新内尋常小学校と北新内尋常小学校が統合して、新得町字新内西1線142番地に開校しました。新内地区の開拓が進むにつれて人口が増加し、子供たちの教育の必要性が叫ばれるようになりました。また明治40（1907）年の官設鉄道十勝線の開通で新内信号場（後に駅に昇格）ができ、木材、農産物、花崗岩の集積地として移住者も増え、教育施設の必要性が高まってきました。こうして、南新内尋常小学校は明治40（1907）年9月、新得簡易教育所新内特別教授場として字新内西5線125番地に開校し、その後、独立して新内教育所となりました。2度にわたる校舎移転を経て、大正6（1917）年に南新内小学校と改称し、児童数も40人を数えました。



旧新内小学校（現在の新内ホール）

一方、北新内小学校は、明治42（1909）年に青森、宮城、石川の各県からの入植により戸数が増え、大正6年に字新内西6線175番地に新内教育所付属北新内特別教授場として開校しました。大正6（1917）年に北新内尋常小学校へ昇格しました。しかし、この地域は、気象、土壌とも条件が悪く、移住者たちは次々と土地を離れていき、児童数が減少したことから、南新内小学校に統合されました。その後、昭和36（1961）年に現校舎が完成しましたが、昭和41（1966）年10月の新狩勝線の開通を契機に児童数が急激に減少し、昭和49（1974）年3月に67年の歴史を閉じました。

その後、学校を現状のまま保存するために改装が行われ、教室の一部は新内ホールとして催し物の会場に利用されています。

広報モニターからの声

広報モニターさんから「広報しんとく9月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼台風により至る所で通行止が起き、一ヶ月続くとも言われた断水は、被害が甚大だったにも関わらず、昼夜を問わず復旧に携わった様々な方々のおかげで主要道路は数日のうちに、水道水は一週間以上も早く復旧されました。関係者の方々には感謝する次第です。今回は河川の氾濫により新得小学校北側の道路が大きく削られているにも関わらず、小学校が避難場所に指定されていることに疑問を覚えます。二次災害を引き起こす可能性があり、安全性を確保する上で他の指定避難場所に変更する必要があると思えます。

▼表記で「障がい者」でも「楽しく踊る」「障がいのある方も頑張っています」とありましたが、捉え方によっては差別的な表現とも取れるので注意が必要かと思えます。

▼夏祭りの写真を見て、8月初旬の夏日を思い出しました。どうも台風ばかりが記憶に残りがちですが、秋晴れが続くことを祈って前向きに冬支度したいと思えます。

▼そば博中止のことでしたが、準備を進めていた関係者の方々は苦渋の決断だったと思います。そば博が

ひびく手話講座

～No.26～

○場所



右手5指を折り曲げ、下に向けて軽く下ろす

○時間・時計



右手親指を左手首につけ、伸ばした人差し指を半回転させる

【この手話は、「町手話に関する基本条例研究会」が作成したポスターから抜粋し掲載しております】